

Muli Shani?

ザンビア通信 第1号

難波中学校のみなさんこんにちは！

ついに2学期がスタートしましたね。夏休みはどうでしたか？
充実した日々を過ごすことができましたか？
2学期もたくさんのことに挑戦し、自分を成長させてくださいね。
私は、現在青年海外協力隊員としてザンビアで活動している田中尚恵です。
これから、難波中学校のみなさんに、ザンビアについて知ってもらいたい
と思い、みなさんにザンビア通信を届けていきたいと思っています。



Zambia について

まずは、ザンビアの基本情報から。日本から、ザンビアへは飛行機で約 20 時間かかります。ザンビアは、アフリカ大陸の南部に位置する内陸国です。従って、ザンビアには日本のように海がありませんが、8 つの国（コンゴ民主共和国、タンザニア、マラウイ、モザンビーク、ジンバブエ、ナミビア、アンゴラ、ボツワナ）と接しています。日本と違い、車ですぐにほかの国に行けます。また、ザンビアは、南半球に位置しているので日本と季節が反対です。アフリカですが、7、8 月のザンビアは、ダウンジャケットが必要なほど冷え込みます。10、11 月になるとザンビアは 35℃くらいになるそうです。



時差は、日本ー7 時間なので日本が昼 12 時のとき、ザンビアは朝 5 時です。

ちなみに、面積は日本の 2 倍ほどで、その中に 73 以上の部族が住んでいます。ザンビア通信のタイトル “Muli Shani? (ムリシャーニー)” は、その中の 1 つであるベンバ族のことば（ベンバ語）で、“How are you?～お元気ですか？” という意味です。公用語は英語ですが、ザンビアの人たちはそれぞれの地域でベンバ語のような現地語を使ってコミュニケーションをとっています。私が、活動している地域はベンバ語を利用しているので、私も勉強しています。

One Nation One Zambia

ザンビアは、もともとイギリスの植民地でした。独立前の国名は、北ローデシアといい、1964 年 10 月 24 日、ちょうど東京オリンピックの閉会式の日イギリスから独立を果たしました。そんな 73 以上もの部族が居るザンビアでは独立後、争いごとはなかったのでしょうか？民族が違えば文化が違い、文化が違えば生活が変わります。当然、違う民族どうし理解しあえないこともあるはずですが。

しかし、ザンビアでは “One Nation One Zambia～ザンビアは 1 つの国” というスローガンのもと、国民全員で平和を守り、独立後から現在まで大きな争いごとは起こっていません。平和は当たり前にあるものではありません。みんなでみんなを思いやるからこそ平和が生まれるのです。みなさんも、ぜひまわりのみんなのことを考えながら、生活してみてください。

